ふれあい広場

いつまでもお元気で

市長から長寿をお祝いする言葉を掛けられた増尾辰蔵さん。お子さん、お孫さんなどに祝福され、102歳とは思えない若々しい話しぶりがとても印象的でした。

サークル掲示板

●在宅介護を考える

東海大学医療技術短期大学では、在宅介護についてのパネルディスカッションを開く。お気軽に会場へ。

▽日時　11月1日（火）午後1時～3時
▽会場　同大学講堂
問い合わせは、同大学事務課（電話58－一二一一内線五四一三）へ。

●速記を覚えよう

サークル「はまゆう」では、高校生以上の方を対象に速記教室を開く。是非ご参加を。

▽日程　9月20日～11月22日の毎週火曜日、全10回
▽時間　午後7時～9時
▽会場　青少年会館
▽募集人員　30人
▽費用　四千円
▽問い合わせ先　同会の大谷英子（電話58－一五二五午後7時以降に）

●陶芸教室を開く

▽日程　10月22日（土）、11月12日（土）、12月10日（土）全3回
▽時間　午後6時30分～8時30分
▽会場　青少年会館
▽定員　50人（先着順）
▽参加費　二千円
▽主催　陶芸クラブ有雅陶
▽申し込み先　青少年会館（電話32－七〇二九）

●高校で地域学習を

県立大磯高校では、郷土から世界へをテーマにコミュニティ・スクールを開催する。この機会に是非ご参加を。

申し込みは、はがきに住所、氏名、電話番号、希望講座を記入し「〒255大磯町東町2－9－1　大磯高校コミュニティ係」へ。

▽日程　10月1日～12月3日の毎週土曜日（全10回）
▽時間　午後1時30分～3時30分
▽定員　40人
▽問い合わせ先　同校（電話61－〇〇五八）

●敬老記念写真

神奈川県写真師会では、今年中に七十七歳になられる方を対象に、写真を無料で撮影し台紙付きで一枚贈呈する。期間は九月十五日（木）から二十一日（水）まで。敬老感謝写真撮影のポスターを掲示している写真店で扱う。

お問い合わせは、県写真師会（電話045－731－二七〇一）へ。

●吹奏楽の団員募集

湘南シーウィンドアンサンブルでは、団員を募集している。木管、特殊楽器の方は特に歓迎。

▽練習日　毎週火曜日・時間　午後6時～9時
▽会場　青少年会館、ほか
▽月会費　一般千二百円、学生八百円
▽問い合わせ先　同団の西田崇（電話33－〇八六七）

●女声合唱団演奏会

花水エコーでは、30周年を迎えコンサートを開く。秋のひととき、合唱に耳を傾けてはいかが。入場無料

▽日時　11時3日（木）午後2時開演
▽会場　市民センター
▽曲目　ヨハン・シュトラウス作曲「美しき青きドナウ」ほか
▽問い合わせ先　同会の山家和江（電話31－一八〇七）

●秋の箱根をあるく

▽期日　9月18日（日）降水確立40％以上の場合25日（日）、以後中止
▽集合　平塚駅北口改札付近、午前8時
▽コース　平塚駅－小田原駅－仙石バス停…金時神社…宿り石…金時山…長尾山…乙女峠…乙女口…仙石－小田原駅－平塚駅・
▽交通費　約二千六百円
▽持ち物　弁当、水筒、雨具、帽子、軍手、替えシャツ、登山靴または履き慣れた運動靴
▽問い合わせ先　平塚あるく会の森河宏久（電話31－三四〇一）

●油絵の会員に

サークル画太郎では、会員を募集している。一緒にスケッチや発表をしてみませんか。

集会は毎週水曜日の午後6時から9時まで青少年会館で。年会費は三千円。

問い合わせは、同会の紺秀治（電話32－五五〇六）へ。

◎サークル掲示板

サークルや団体の掲示板として利用していただくコーナー。会員募集、イベント案内などを掲載する。お気軽にご利用を。

・送り先　〒254平塚市浅間町9－1　平塚市広報広聴課「サークル掲示板」係

お譲りします

◇**譲ります**　①有料　男女子供服、おもちゃ、おまる、ベビーベッド用蚊帳、室内すべり台、男子学生服、A型ベビーカー、ステレオラック、応接間用テーブル、シングルベッド、電気コード、照明器具、除湿器、留守番電話、ウェットスーツ、スキーキャリア、タイヤチェーン、自転車、冷風扇、ウッドカーペット、コーヒーメーカー、こたつ布団　②無料　ベビーキャリー、民芸調のいす、食器棚、電子レンジ台、こたつ、中学生副教材、ギター、ゴルフセット、空手着、掛け布団、工業用ミシン

◇**譲ってください**　旭陵中ブレザー、幼稚園園児服、B型ベビーカー、子供用自転車、自転車用補助座席、赤ちゃん体重計、ベビーチェアー、マタニティドレス、パイプベッド、キッチン用テーブルといす、サイドボード、おもちゃだんす、テレビ、電気毛布、冷蔵庫、エアコン、パソコン、洗濯機、プロパン用ガス釜、ピアノ、エレクトーン、電子オルガン、マージャン卓、サーフボード、剣道防具一式、マウンテンバイク、50ccバイク、ミシン

◎不用品登録情報は、地域づくり課市民生活係（内線二六三）へ。

私のたからもの ▶6◀

2枚のサイン

鈴木剛さん（長持）

私の宝物、それは二枚のサイン。一枚は、相対性理論で有名なアルベルト・アインシュタインのもの。ノーベル賞を受けた翌年、講演に立ち寄った早稲田大学でU教授の求めに応じられたものと伺っている。それから二十年後、学生だった私は偶然U教授のお孫さんの家庭教師をしていた。卒業に当たり「何か欲しいものを」と言われ、恐る恐るお願いしたものである。

もう一枚は、第二十一世本因坊秀哉名人のもの。私と同年代の囲碁ファンなら昭和十二年に師が世襲制だった本因坊の名跡を日本棋院に付与され、以後今日の選手権制となったことを御存じであろう。こちらは、息子が学生時代に下宿していたお宅のご隠居さんからいただいたものである。

私は、現在趣味として囲碁を、生涯学習として学び残した調べ物をやっているが、この両者を仰ぎ見ては心の糧にしている。

◇　◇　◇

みなさんが大切にしている品物を紹介するコーナー。紹介文を二百字程度にまとめてお送りください。

▽送り先　〒254平塚市浅間町9－1　平塚市広報広聴課「私のたからもの」係

教育相談

こわがる心

幼い子供は、多くの恐怖心を抱きやすいものです。しかし、それは成長と共に減少していきます。ところが、その時の体験によっては、順調な成長を妨げることにもなりかねません。

A君は、小学校二年生なのにトイレに入って戸を閉めるのを怖がったり、一人では留守番ができません。お母さんはしっかりさせるために「男の子でしょ」「赤ちゃんじゃないんだから」と、強く言ってきました。でもA君はそう言われると、逆に、ちゃんとできないことを責められているようで、自信を無くしていってしまいました。

A君の幼いころ、両親の間では言い争いが絶えなかったそうです。A君はこのことを敏感に感じ、お母さんが居なくなるのではないかという不安から、あまり話さない子になったようです。

子供は、お母さんに怖さを話すだけで心が軽くなるものです。怖さや不安に囲まれている状態から逃れ、お母さんを信頼することができて初めて安心感が持てるようになるのです。

親は子供をしっかりさせようとするあまり、強く言ってしまったり、逆にその事に触れないようにしがちですが、まず、怖さについて聞いてあげるようにしていくことが大事です。そうすれば、子供が話し掛けてきた時「大丈夫なんだよ」と励まし、納得のいく説明もすることができて、怖さを無くす手助けをしていくことができるものです。

☆子ども教育相談センター
崇善小学校北側・電話36－六〇一二

女と男のフェスティバル湘南の風'94

◆11月15日（火）　開演午後3時
◆中央公民館
音楽劇「楢山節考」
・出演　室生あや子ほか
・チケット　1000円（指定席）
●11月19日（土）開演午後1時30分
●ひらつかスカイプラザ
トーク　「これからの家族のあり方、そして自分は……」
・講師　神津善行、神津カンナ
・先着200人（無料）保育あり

神津カンナさん

神津善行氏

申し込み　9月19日(月)から「〒254　平塚市宝町3番1号　平塚MNビル10階女性行政推進室内　ひらつか女性フェスティバル実行委員会事務局」へ。ただし、土・日・祝日は休み。電話21－7500

職員の募集

◇薬剤師……1名
・昭和45年4月2日以降に生まれた人で、薬剤師の資格を有する人。

◇社会福祉協議会職員……1名
・昭和44年4月2日以降に生まれた人で、大学（短期大学除く）において、社会福祉に関する学部・学科を卒業した人。または平成7年3月に卒業見込みの人。

◎申し込み　9月26日(月)までに薬剤師は指定の申込書（職員課にある）、協議会職員は市販の履歴書に写真を添えて職員課へ本人が持参する。採用試験は10月1日

ヘルシーライフ ●HEALTHY● ●LIFE●

予防接種●10月カレンダー

赤ちゃんの健康メモ

◎**保健センター**　平塚市中里34―17　電話34―0311
◎**平塚保健所**　平塚市豊原町6―21　電話32―0130

小児マヒ生ワク

■対象　3か月以上4歳未満の乳幼児。6週間以上の間隔で2回受ける
■受付　午後1時30分～3時
※の会場は午後2時～3時
【10月】
11日※城島公民館、※湘南農協土沢支所
12日　須賀公民館、湘南農協大野支所
13日※大神公民館、中原公民館
14日　福祉会館、※豊田公民館
18日※金田公民館、※岡崎公民館
19日　旭南公民館、神田公民館
20日　花水公民館、金目公民館
28日　保健センター
☆会場が前回と変わっている所があるので、ご注意を

乳幼児歯科相談

■対象　2歳6か月までの乳幼児
■会場　平塚保健所
■相談日　10月3日、17日
■時間　午前9時～10時
■申し込み　電話で平塚保健所へ

母親父親教室

10月の日程
■**前期**（妊娠6か月までの方）
3日　午後1時30分～4時
赤ちゃんの歯の衛生
17日　午前10時30分～午後2時
妊娠中と産後の栄養
21日　午後1時30分～4時
赤ちゃんの育て方
■**後期**（妊娠8か月以降の方）
24日　午後1時30分～4時
お産の進み方と産後生活
28日　午後1時30分～4時
赤ちゃんのおふろ
■会場　保健センター
■母子手帳、筆記用具、スラックス（3日と24日）、手ふきタオル（17日と28日）、エプロンと三角布（17日）、歯ブラシとコップ（3日）を持参

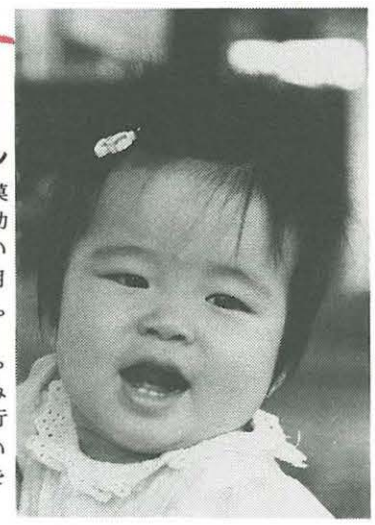
乳幼児健康診断

■受付　午後1時～2時
■会場　保健センター
■母子手帳、筆記用具、歯ブラシ（1歳6か月児のみ）を持参
【10月の3か月児】
・5日　6年6月1日～10日
・19日　6年6月11日～20日
・26日　6年6月21日～30日
【10月の1歳6か月児】
・4日　5年4月1日～10日
・11日　5年4月11日～20日
・18日　5年4月21日～30日
【10月の3歳児】
・6日　3年8月1日～10日
・20日　3年8月11日～20日
・27日　3年8月21日～31日

虫歯予防教室

■対象　10月中に8か月から1歳になる乳幼児の母親
■日時　10月12日　午前10時～11時
■会場　平塚保健所
■母子手帳、筆記用具を持参

赤ちゃんのステージ



伊東舞子（いとうまいこ）ちゃん

☆平塚市代官町27―6　西相模

三菱自動車販売株式会社にお勤めの伊東靖彦さん（31歳）とれい子さん（26歳）の長女。平成5年12月1日生まれ。身長74cm、体重8.8kg。

おもちゃ箱をひっくり返しては、いつもお母さんを困らせる舞子ちゃん。お父さんが帰ってくるとしがみ付いて離れない甘えん坊。海岸に行くと波打ち際まで連れて遊んでいる。将来は、本人のやりたいことを自由にやってほしいとお母さん。

募集　はがきに赤ちゃんの氏名、性別、生年月日と両親の住所、氏名、年齢、電話番号、会社名を記入のうえご応募ください。対象は1歳未満の赤ちゃんです。応募されたはがき（1日掲載分は26日～10日締め切り、15日掲載分は11日～25日締め切り）は、抽選により広報紙に掲載します。今回は12人応募。
☆送り先　〒254平塚市浅間町9－1
平塚市広報広聴課「赤ちゃんのステージ」係

健康診査

歯ぐきの検診

▽日時　9月27日（火）
・妊婦の方　午前9時～10時30分
・妊婦以外で50歳未満の方　午後1時～2時30分
▽会場　平塚保健所
▽持ち物　母子手帳（妊婦の方）、普段使っている歯ブラシ、コップ
▽申込先　平塚保健所（電話32―〇一三〇）予約制

心の健康相談

▽日程　9月27日（火）、10月5日（水）、11日（火）
▽時間　午後1時30分～3時30分
▽会場　平塚保健所
▽対象　心の悩み、ノイローゼ、アルコール等の悩みを持つ本人、家族
▽相談担当者　精神科医師、ケースワーカー（訪問も可）
▽申込先　平塚保健所（電話32―〇一三〇）予約制

シルバー・ヘルス

糖尿病予防教室

市では、糖尿病を防ぐための教室を開く。医師と保健婦の講話、調理実習、ウォーキングなど。
▽日程　9月30日（金）、10月6日（木）、14日（金）、21日（金）
▽時間　午後1時30分～3時（ただし、10月14日は午前10時～午後2時）
▽会場　吉沢公民館
▽問い合わせ先　保健センター（電話34―〇三一一）

講演会と集い

平塚保健所では、特定疾患についての催しを開く。
【特定疾患相談会】
▽日程　10月5日（水）、14日（金）
▽時間　午後2時～4時
▽内容　消化器系難病についての専門医による相談
▽定員　8人（先着順）
【特定疾患講演会】
▽日程　10月21日（金）
▽時間　午後2時～4時
▽内容　消化器系難病のための食事
【患者家族の集い】
▽日程　10月27日（木）
▽時間　午前10時～午後1時
▽内容　調理実習とカルシウムの話
▽費用　四百円
▽持ち物　エプロン
▽申込先　平塚保健所（電話32―〇一三〇）

老人性痴呆（ちほう）疾患相談を

▽日時　9月28日（水）午後1時～4時
▽会場　平塚保健所
▽対象　お年寄りの物忘れなど、痴呆に悩んでいる方
▽申込先　平塚保健所（電話32―〇一三〇）予約制

育児教室開く

市では、育児で悩んでいるお母さんのために育児教室を開く。
▽対象　平成6年4月1日～5月30日生まれの乳児とそのお母さん
▽日程と内容
・10月7日（金）離乳食のすすめ方、楽しく子育てを
・11月4日（金）赤ちゃんに多い病気と育児
▽時間　午後1時30分～3時
▽会場　保健センター
▽問い合わせ先　保健センター（電話34―〇三一一）

育児なんでも百科

離乳食のすすめ

離乳とは、母乳やミルク以外の食べ物を食べられるようになることである。この時の半流動食や半固型食を離乳食と言う。

離乳期は、食事の進み方、回数、調理形態などにより、初期（ゴックン期）、中期（モグモグ期）、後期（カミカミ期）、完了期に分けられる。

初期は、かゆ・野菜・魚・レバー・豆腐などをドロドロにして、一日一回十さじぐらい与える。口をモグモグして飲み込める様になったら次に進む。

中期は二回食で種類も増えてくる。形はベタベタ状だが、舌でつぶせる程度の固さのものを与える。この時期は、味・舌ざわり・歯ざわりを覚える重要なときなので、十分にモグモグ練習をさせる。かゆやおかずをひととおり食べるようになったら後期へと進む。

後期は三回食となる。このころから離乳食が主となるので、栄養のバランスをよく考えて与えてほしい。

離乳食のポイントは、内容を工夫して薄味にし、母子共にゆっくりできる時間帯に与えることである。子供の個人差に応じ、あせらずゆっくりと進めることが大切である。（健康課）

「ひらつか天城山荘」空き状況

◇申し込み　ひらつか天城山荘
※申し込みは6か月前から受付
・電　話　0558－87－1050
・ＦＡＸ　0558－87－0557
・住　所　〒410-32　静岡県田方郡天城湯ケ島町上船原1120－1
・1泊2食付き、大人4,925円、子供4,405円
◇問い合わせ　交流親善課（内線597）

×印 満室　△印 早めに申し込みを　〇印 まだ余裕がある

11月	(日)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	(曜)	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
		〇	〇	△	△	×	〇	〇	△	〇	△	×	×	〇	休	休	休	〇	△	×	×	×	〇	〇	〇	〇	×	〇	〇	〇	〇

12月	(日)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	(曜)	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
		〇	〇	×	〇	〇	〇	〇	〇	×	〇	休	休	休	〇	〇	×	〇	〇	〇	〇	〇	〇	×	〇	〇	〇	〇	△	△	×

松竹歌舞伎公演

修禅寺物語・土蜘
◇11月22日（火）
・昼の部　12時30分開場、13時開演
・夜の部　17時30分開場、18時開演
◇市民センター
●出演者　尾上菊五郎、市川佐團次、中村芝雀、市川團蔵ほか
・入場料　S席4000円、A席3000円、B席2000円
・前売所　市民センター、チケットセゾン、チケットぴあ（長崎屋4F）、稲元屋楽器店、サクラ書店コミック館、花水書店、出口書店

※電話予約は市民センター（電話32-2235）へ

広報手帳

◆福祉芸能の集いが

福祉芸能の集い実行委員会では、チャリティー公演を開く。

▽日時　9月18日（日）午前10時30分開演
▽会場　中央公民館大ホール
▽入場料　無料
問い合わせは、同実行委員会事務局市川美恵志津氏（電話32－六二四二）へ。

◆戦没者追悼式開く

戦没者、戦災殉難者追悼式が開かれる。ご参列を。

▽日時　10月7日（金）午後1時30分開式
▽会場　市民センター
問い合わせは、生活福祉課管理係（内線二一〇）へ。

◆誘導法講習会開く

平塚ショッピングボランティアでは、誘導法講習会の受講生を募集する。

▽日時　10月12日（水）午前10時～午後3時
▽会場　福祉会館第三会議室
▽定員　30人（先着順）
▽内容　視覚障害者新人誘導法講座
申し込みは、社会福祉協議会（電話33－二三三三）へ。

◆健康相談室開く

心の悩みや精神障害（病）について家族会役員が、専門の相談員の協力を得て心の健康相談室を開く。

▽日時　10月9日（日）午前10時～午後3時
▽会場　MNビル11階ひらつかスカイプラザ
問い合わせは、湘南家族会大内清子氏（電話32－八九七五）へ。

◆健康講座を開く

済生会平塚病院では、健康講座を開く。

▽日時　9月16日（金）午後2時～3時30分
▽会場　済生会平塚病院
▽内容　エイズの知識と理解
▽参加料　無料
問い合わせは、同病院医事課（電話31－〇五二〇）へ。

◆人権講演会を開く

▽日時　9月25日（日）午後2時開演
▽会場　新都市ホール（横浜そごう9階）
▽講師　池田栄子氏
▽内容　講演、映画「星空のハイスクール」
問い合わせは、福祉政策課庶務担当（内線五〇五）へ。

◆女性セミナー開く

▽日時　10月20日（木）午後1時30分～4時40分
▽会場　茅ヶ崎市役所7階会議室
▽募集人員　50人
▽内容・講師　①不況にゆれる女性労働と男女平等のゆくえ、市川幸子氏　②平成の結婚事情、坂本洋子氏
申し込みおよび問い合わせは、県湘南労働センター（電話〇四六七－85－一一七一）へ。

◆園芸教室を開く

▽日時　10月14日（金）午前9時30分～11時30分
▽会場　県農業会館（駅南口）
▽講師　園芸研究家　曽我大典氏
▽内容　観葉植物、室内園芸の楽しみ方
問い合わせは、県湘南園芸相談コーナー（電話23－〇五九三）へ。

◆技術校で受講生を

藤沢高等職業技術校では、講習会の受講生を募集する。

【コンピュータデザイン入門コース】

▽日程　10月3日(月)、4日(火)
・時間　午前8時50分～午後4時10分
▽募集人員　15人
▽申込期限　9月19日（月）

【女性リファインド職業講座パソコンコース】

▽日程　10月3日（月）～13日（木）全8回
・時間　午前8時50分～12時
▽募集人員　20人
▽申込期限　9月19日（月）
問い合わせは、同校（電話〇四六六－25－二四二五）へ。

◆米軍基地パネル展

県では、神奈川県内にある米軍基地の現状を写真パネルやビデオテープで紹介する。

▽期間　10月26日（水）～30日（日）
・時間　午前10時～午後9時
▽会場　中央林間とうきゅう駅ビル2階

◆親子でたこ作りを

県立湘南青少年の家では、たこ作りに親子で挑戦するファミリースクールを開く。

▽日時　10月8日（土）午前9時30分～午後4時
▽会場　県立湘南青少年の家
▽対象・募集人員　親子で合計40人（先着順）
申し込みおよび問い合わせは、同所（電話61－〇六七六）へ。

◆大学で公開講座

東海大学工学部では、「がん・エイズはなおるか」をテーマに公開講座を開く。

▽日時　10月8日（土）午後1時20分～4時30分
▽会場　東海大学湘南校舎松前記念館講堂
▽内容・講師　①がんと闘う免疫学、垣生園子氏　②エイズと闘う糖鎖工学、水落次男氏
問い合わせは、同大学（電話58－一二一一内線四〇〇三）へ。

◆消費者の意識を

県では、快適で個性豊かな消費生活実現のため、県民や事業者とともに考えようと、毎年十月の第二土曜日から一週間を「かながわ消費者週間」に制定している。今年は、十月八日（土）の記念講演会をはじめ各地でシンポジウムが開かれる。ご参加を。

問い合わせは、県庁県民部消費生活課（電話〇四五－二〇一－一一一一内線三五一一）へ。

◆障害者雇用促進を

県では、毎年九月を「障害者雇用促進月間」と定め、障害者の雇用問題について県民や事業主の関心と理解を深める様々な活動をしている。ご協力を。

◆不当要求行為には

県警察本部では、暴力団員による不当要求行為に関する情報を広く集めるため、不当要求拒絶コールを設置している。この電話は、フリーダイヤルで二十四時間受け付けている。ご協力を。

▽電話番号　〇一二〇－79

◆提言を国政へ

自治省では、地方公共団体や地方自治の制度をはじめ、地方税、地方財政、選挙制度、地域活性化など、地方行政に対する提言をいただくため、自治大臣への提案ファックスを設置している。ご利用を。

▽ファックス番号　03－三五八一－六九八七
▽受付時間　午前9時～午後6時（土、日、祭日を除く）
問い合わせは、自治大臣官房広報室（電話03－三五九一－〇二七九）へ。

◆労働保険に加入を

労働省では、十月を「労働保険適用促進月間」と定め事業主の方の労働保険加入手続きを推進している。加入手続きなど詳しいことは、お近くの公共職業安定所、労働基準監督署にお尋ねを。

樹木を斡旋している。希望される方は、みどり公園課みどり推進係（内線五九一）へ。

あたたかい心

社会福祉基金は、地域福祉のボランティア助成などに使われる。

問い合わせは、社会福祉協議会（電話33－二三三三）へ。（敬称略）

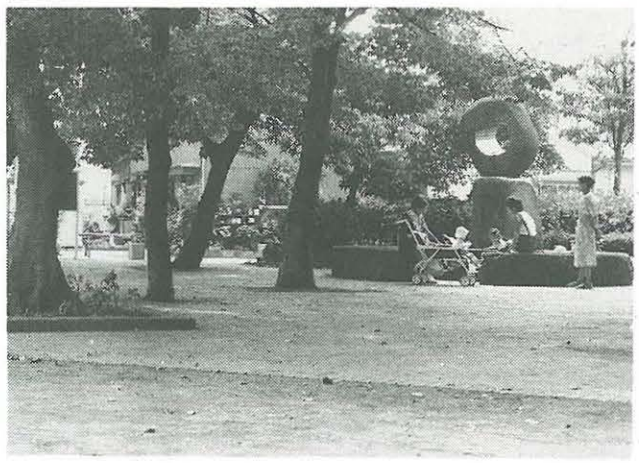
▽**社会福祉基金へ**　・堤達夫　十万円、十二人会　千円、クライス音楽研究会　十四万七千八百九十二円、明石町デイリーストア橘川秀夫　一万九千三円、淑徳大学学長長谷川匡俊　一万円、小泉健太　五百八十三円、平塚建設業協会　十万円、平塚市料理飲食店組合　十万円、早川京子　五万円、キヨ・ジャズダンス・スポット　十万一千三百七十三円、田中信治　一万三千三百十六円、杉山秀子　五百万円、匿名　五千円
▽**児童福祉へ**　・匿名　一千円
▽**社会福祉へ**　・磯崎輝夫　二千円
▽**交通遺児へ**　・泉栄一　一千円、道の日フェア94（平塚会場）主催者　十万七百円
▽**お譲りする樹木**　・いぬつげ（樹高2メートル、1本）、もみ（樹高1・8メートル、1本）

●**文化振興基金**
文化振興基金は、芸術文化事業の実施や市民の創造的な文化活動に対する助成などに使われる。ご協力を。
問い合わせは、文化行政推進室文化振興係（内線六七三）へ。（敬称略）
・湘南ひらつか七夕まつり露店出店者一同　十万円

●**みどり基金**
みどり基金は、緑化団体の助成などに使われる。ご協力を。
問い合わせは、みどり公園課みどり推進係（内線五九一）へ。（敬称略）
・ふじみ野第一、第二公園愛護会　三千円、ふじみ野第三、第四公園愛護会　三千円、市民相談室窓口募金箱　二千二百二十七円、湘南ひらつか七夕まつり露店出店者一同　十万円、ランナーズ　五万七千三十八円、チュリス平塚自治会　一万円

声のひろば

公園遊具の設置基準は
環境や規模に配慮


見附台公園の緑陰でひとときを楽しむ親子

質問

私の家の近所に公園ができることになりましたが、子供たちの遊具があまり設置されないと聞きました。

市内には、沢山の公園がありますが、設置されている遊具や施設に違いがあります。どのような基準で設置をされているのでしょうか。

（万田　五條慶子さん）

お答え

現在、市内には二百七か所の公園や緑地があります。公園は緑地の保全のほか、多目的に利用できる生活空間の場として設置の要望が多く寄せられています。市が公園を整備する場合、周囲の自然環境や面積等の規模のほか、利用される方々のご要望等を聴き、整備の基準としています。

通常、公園の遊具として砂場やブランコ、すべり台などが子供たちに喜ばれていますが、公園によってはアスレチックのような複合的な遊具も設置しています。

しかしながら最近では、公園を多目的に活用するために、遊具の設置をあまり希望されない地域もあります。

市では、自治会や近隣の方のご意見を参考に、地域の特色を生かし、みなさんに喜び親しまれる公園づくりを目指しています。

（みどり公園課）

※市へのご意見、ご要望はお気軽に広報広聴課広聴担当（内線三五五）にお寄せください。

石碑を訪ねて
平塚の歴史を読む

平塚の塚があったとされる要法寺西側の平塚の碑

平塚の碑

平塚の地名の起こりと伝承される「平塚の塚」は、江戸時代天保期に作られた「新編相模国風土記稿」によれば、「土人云、往昔高見王桓武天皇三代孫、の子政子東國に下向あり、天安元年二月廿五日逝す、其柩を當所に埋め、一堆の塚を築て印とす　今要法寺境内にあり、其塚上平かなるより、地名起れりと按ずるに、此事土人の口碑に傳ふるのみ、未　考える所なし」とあります。「風土記稿」の編者も伝承であり、信ぴょう性に欠けるとしています。しかし、伝承とはいえ百五十年も前に、土地の人々に地名の起こりが言い伝えられている事実に、平塚の歴史の古さが伝わります。

平塚の名は、「吾妻鏡」の建久三年（一一九二年）八月九日条に、北条政子が実朝安産祈願として神馬などを奉納した「範隆寺平塚」、「黒部宮平塚」とあるのを初見とします。

平塚宿の名は、正和五年（一三一六年）ごろ、鎌倉に滞在していた益性法親王の上洛の際に借りた下法師を返す約束の書状に「平塚宿」と出てきます。

このことから江戸期をさらにさかのぼる鎌倉期に、すでに「平塚」および「平塚宿」の名が当地に存在していたことがうかがえます。江戸期、東海道平塚宿の成立は、慶長六年（一六〇一年）のことですが、平塚宿として宿場の機能を整えるまでには、さらに八十年程を過ぎた元禄期ごろといわれています。

宿内は、柳町・西仲町・東仲町・二十四軒町・十八軒町の五町からなり、天保期には東仲町に本陣、二十四軒町に脇本陣があり、旅籠屋は五十四軒あったといわれます。

平塚の塚といわれるものは、現在、要法寺西側の平塚の碑が建つ場所とされます。平塚の碑は、大正九年秋、町長加藤銀蔵によって建立されました。

（博物館主任学芸員土井浩）